

鎌倉市議会議員久坂くにえ

www.kkusaka.net

くさか 久坂くにえ通信

Twitterは
@KUSAKAKUNIE



昭和48年2月生まれ 0型 聖心女子大学文学部英文学科卒業 観光厚生常任委員会
広報委員会所属 かがやく鎌倉を創る会所属 前関東若手市議会議員の会神奈川ブロック会長

第45号2011年7月

教訓をどう生かすのか

今回の6月定例会は震災後ということもあり、一般質問者14人のうち、私を含めて実に10名が災害対策に関する内容でした。

市議会では平成初の、集中質疑という形式で一般質問を進めることになりました。(その名のとおり、最初に災害対策をテーマとする議員の質疑を終えた後、他のテーマの一般質問を行う)

厳しいこの震災の教訓を、鎌倉に住んでいる方の生命を守るため今後の防災対策にどう生かすのか。防災対策の課題は本当に広範です。ひとつずつ丁寧に、しかもスピード感をもってあたることが必要とされます。

■ 鎌倉市の防災行政について～6月定例会一般質問概要～

・保育園、学校、子供の家などについて

災害時に各施設にまったく連絡がつかず、大変心配な思いをされた保護者の方が多くいました。確実な情報のやりとりができるよう要請しました。各園については携帯電話の装備を行うこととなりました。また学校に関しては、これまでの防災マニュアルを見直すことが明らかになっており、いかに児童の安全を確保できる内容か、防災教育のあり方とともに今後推移を見守ります。

また保育園、子どもの家などについては、各地域で行う防災訓練などに参加し、いざというときに地域の方の助けを受けられるような、顔の見える関係作りを要請しました。

・ 鎌倉市の地域防災計画の見直し

多くの観光客が交通機関の停止により帰宅困難者となって市内に留まり、その対応に追われた災害当日の鎌倉。しかしながら、観光客の帰宅困難者化・また対策の必要性はこれまでの地域防災計画の中でも課題としてあげられていましたが、具体的な対策が手薄でした。

また、現在県が津波対策のための新たな想定を検討しており、その検討に基づき、津波対策も含んだ地域防災計画が改定されるとのことです。

地域防災計画見直しにあたっては、現在までに課題とされていた事一つ一つを見直し、具体策を伴う内容となっているか検討が必要ではと指摘しました。

・ 災害時要援護者登録制度の推進

災害時にとりわけ特別な助けを必要とする一人暮らしの高齢者の方などの情報をしっかりと把握し、いざというときに地域からの助けができる体制作りのさらなる推進を求めました。

■ 震災時に議員のすべき事

～地方自治経営学会研究大会に参加して～
総務大臣の片山氏が学会長を勤める地方自治経営学会の大会が5月12日、13日開催され、参加してきました。今回の震災時、住民に最も近い行政の役割が見直しされ、各市町村長の活躍も目立つ中、議員は何をすべきか、ということも議論されました。各避難場所を回り、地域住民の方が今本当に何を必要としているのか意見を聞く議員、首長と一緒に被災地を調査する議員、被災地において、その姿は様々です。

復興というステージで、今後どんな街を目指すのか、住民の方の意見を十分受け、実現する事が議員の役割ではないか、という提言には重みがあります。

なお片山氏の講演では知事就任後、編成から長年経過していた防災計画を実働できるよう見直し、それに伴う訓練を行ったことが鳥取県西部地震の際にも非常に役立ったということで、平時からの備えの重要性を改めて認識しました。

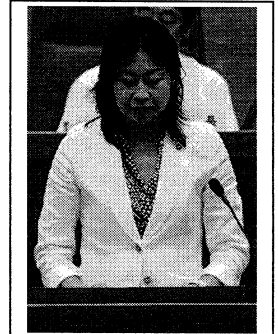
■ 長すぎる、と指摘されましたが

このたび議会における会派名を変更しました。「かがやく鎌倉を創る会」が新名称です。ちなみに以前編成した会派マニフェストが由来となっています。まちづくりとは、「市民がかがやく舞台づくり」と考えた私たちの思いが込められた会派名となっています。

■ 少子化社会の遠因

先日閣議決定された子ども・若者白書で15歳から24歳の非正規雇用率は前年度と比べて0.4%上昇して30.4%であることや、また非正規雇用の非婚率が正規雇用者より高いということが発表されました。不安定な働き方が非婚、ひいては子どもを持たない選択につながり少子化社会を加速させています。安心して働ける社会が必要です。

とりわけ神奈川県では生活保護費より最低賃金の方が低く、賃金引き上げを求る意見書を6月定例会最終日に提出しました。多数で採択され、総理大臣、厚生労働大臣などに意見書が送付されています。



■ 会津若松に行ってきました

5月中旬、会津若松市に行ってきました。一見落ち着きを見せていた同市ですが、多くの方が避難していました。避難しているお子さんたちのためにスポーツ大会が開催されるということで、大会時の炊き出し部隊として現地に行っていました。一人でできる事は限られていますが、できる事をこつこつとやっていきます。



募集しています

久坂くにえを応援して下さる方

この通信の配布などお手伝い下さる方

サポーターを随時募集しています。

お気軽にご連絡ください！お待ちしております

久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302

TEL/FAX 0467-47-1905 メール:mail@kkusaka.net

HP: <http://www.kkusaka.net>